

衝突物のエネルギーが353J以下のショックアブソーバです。衝突負荷エネルギーの変化に対しても、調整ダイヤルを操作するだけで、簡単に調整することができます。

- 可変オリフィス形でありますので相当質量が各々の機種に決められた範囲内にあり、しかも最大エネルギー範囲内であれば、無段階調整が出来ます。
- 正しく調整すれば、多孔オリフィス式のため単孔オリフィスに比較して抗力が小さく経済的なショックアブソーバの選定が出来ます。
- 実際の相当質量の変動に対して、調整範囲が広く取れる様、設計してあります。



仕様

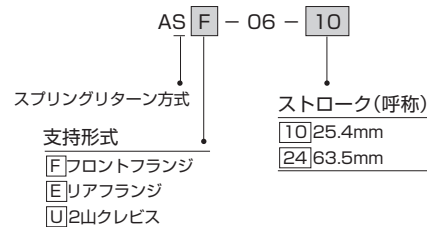
形式	AS _F ^E -06-10	ASU-06-10	AS _F ^E -06-24	ASU-06-24
最大吸収エネルギー範囲 J	141	97.1	353	245
ストローク mm	25.4		63.5	
相当(等価)質量範囲 kg	11~11000		11~11000	
(注1) 毎分最大エネルギー容量 J/min	735		1330	
衝突速度範囲 m/s	5			
(注3) 最大抗力値 N	11300	7790	11300	7870
(注2) ロッド復帰力 N	73.5		79.4	
(注2) ロッド復帰時間 s	0.1		0.3	
最大使用サイクル 回/min	30			
使用温度範囲 °C	-5~+50 (但し、凍結なきこと)			
支持形式	F形(フロントフランジ) E形(リアフランジ) U形(2山クレビス)			
質量 kg	E:1.19 F:1.19 U:1.26		E:1.62 F:1.62 U:1.68	
関連部品	補助オイルタンク			

(注1) 表中の毎分最大エネルギー容量は、周囲温度26.7℃時を表わしています。周囲温度T(°C)における毎分最大エネルギー容量をE₂(J/min)とすると次式 $E_2 = \frac{(82.2 - T)}{55.5} \times (\text{表中の毎分最大エネルギー容量})$ で表わします。

(注2) 全ストローク押込時の最大値を示します。

(注3) 最大抗力値は適切な調整を行った場合の値です。

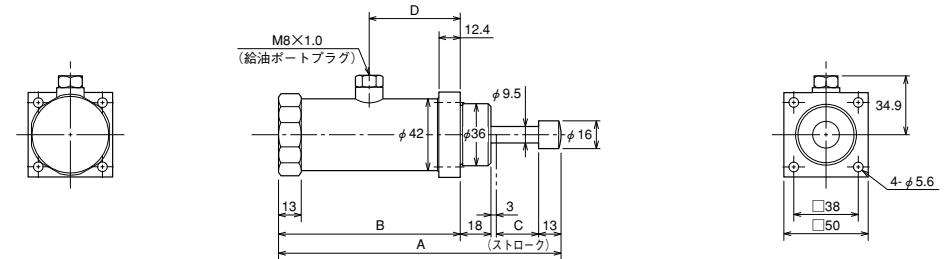
形式記号 ご注文時には、下記の形式記号でご連絡ください。



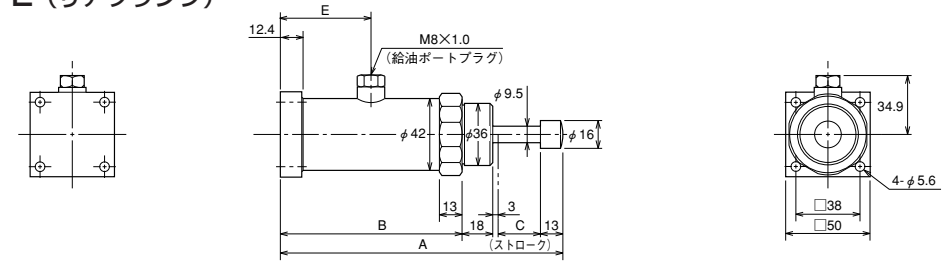
単位: mm

CAD/DATA
ABSORBER/TDSAS06 提供できます。

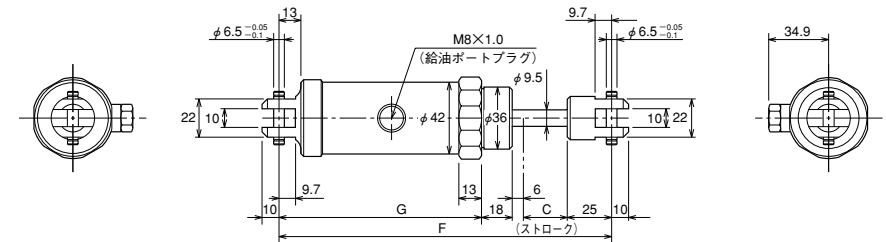
F (フロントフランジ)



E (リアフランジ)



U (2山クレビス)



寸法表

形式	呼称ストローク	A	B	C	D	E	F	G
AS※-06-10	10	165.8	106.4	25.4	53.4	53	193.8	119.4
AS※-06-24	24	264.6	167.1	63.5	84.1	83	292.6	180.1